

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	総合		
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 総合学科の特色を生かした教育活動を行っていますか。	・系列ごとの多様な選択科目や、少人数制の授業形態に満足している生徒が80%以上である。	・系列の特色を明確にするとともに、生徒の学習意欲の向上を図るために、少人数指導をはじめとした様々な授業形態の工夫を行う。	A	A	A	・92%の生徒が多様な選択科目や少人数制授業に満足している。特に芸術系の専門科目は少人数指導が行われ、授業への満足度が高い。また、授業アンケートの結果から、生徒同士の話し合いや協働の活動が行われる授業や、ICTを活用した授業への満足度が高い傾向がある。これらを踏まえて、各授業の工夫をさらに進めたい。 ・83%の生徒が「社会や地域に興味を持ると回答した。学校の特色であるキャリア教育の取組が評価され「キャリア教育優良学校文部科学大臣賞」を受賞した。本校の強みとして、今後も推進していきたい。	・総合的な探究の時間における生徒のテーマ設定が、自分の課題や将来の夢と直結しているため、今後の社会生活において生かしてほしい。 ・「社会に貢献できる生徒を育てる」という教育目標に向けて、さらに魅力ある吉井高校になってほしい。
		・産業社会と人間や総合的な探究の時間をとおして、社会や地域に興味をもつ生徒が80%以上である。	・生徒が地域や社会に興味をもち、主体的にキャリア形成できるよう、地域関係機関やNPO法人等と連携し、学校外の資源を活用した教育活動を充実させる。	A	A	A		
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。 3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	・授業に対する生徒の評価を年2回実施して、授業改善に生かしている。	・1学期末と2学期末にアンケートを実施して、ICTを活用した個別最適な学び及び主体的・対話的で深い学びを実現できるような授業改善を進める。	A	-	A	・7月と12月に全授業を対象とした授業アンケートを実施した。授業内容については多くの生徒が肯定的にとらえているが、授業における学習形態（授業のねらいや評価の説明、協働学習、ICT活用、振り返りなど）について課題がある。今後このようなアンケートを継続し、各教員の授業改善への意識を高めていきたい。 ・84%の生徒が意欲的に学習に取り組んでいると回答した。上記のアンケート結果を踏まえ、生徒の知的好奇心を高める指導を工夫したい。 ・91%の生徒がコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力が身に付いたと回答した。キャリア教育の取組の中で、校外へ向けた発表機会も多くあり、生徒は主体的に活動していた。一人一台端末の活用にも慣れてきたところで、今後も活動のアウトプット機会を創出したい。	・総合的な探究の時間を中心とした探究活動における生徒の発表機会が多く、資料のまとめ方等が上進していると思われる。通常の授業における主体的活動の機会も創出してほしい。
		・意欲的に学習に取り組んでいると自己評価している生徒が80%以上である。	・主体的に学びに向かい、生涯にわたって学び続けようとする姿勢を醸成するために、学習内容と社会生活とのつながりを意識させた授業を実践する。	A	A	A		
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 生徒は安心して、充実した学校生活を送っていますか。	・いじめ防止への取組を理解・確認している生徒・保護者が90%以上である。	・PTA総会や三者面談・Webページを利用し、いじめ防止の取組を周知させる。	B	B	B	・コロナが明け、生徒の学校生活に対する充実感が上がってよかった。 ・交通ルールに関する生徒アンケートで、昨年度と比較して意識が大きく向上している。この点はもっと強調してもよい。	
		・学校生活や部活動が充実していると感じている生徒が85%以上である。	・行事や部活動の在り方を検証するため、学校行事ごとの振り返りや生徒・保護者向けアンケートを実施する。	A	A	A		
	5 交通規則を守り、交通事故を起こさないようにさせていますか。	・交通事故発生件数が年間を通じて7件以内である。 ・自転車通学者のヘルメット着用率を100%とする。	・地域や保護者の意見を参考にし、「危険箇所マップ」を作成し活用する。 ・自転車通学者に対し、ヘルメット着用について声掛けを継続させる。	A B	A B	A B		
6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	・社会規範や校則を守ろうと努めている生徒が80%以上である。	・生活委員生徒と職員が定期的に、昼休み巡回指導を行い、「校内マナーアップ指導」を強化する。	B	B	B			
IV 生徒が心身ともに健康で安全な学校生活が送れるように適切な指導をしていますか。	7 生徒はコミュニケーション能力を高め、良好な友人関係構築に努めていますか。 8 生徒は心身の健康管理に気をつけて学校生活を送っていますか。	・友人とのコミュニケーションに気を配り、交友関係がうまくいっていると感じている生徒が85%以上である。	・コミュニケーションスキルを向上させるための講演会やホームルーム活動を実施する。	A	A	A	・生徒・保護者共に交友関係は良好であると回答しており、学校全体が落ち着いた状況である。 ・次年度も学期ごとのアンケートからの生徒観察による情報を職員間で共有して、早期に対応できるよう努めたい。	・学校全体が落ち着いた雰囲気である。
		・心身の健康管理に気をつけている生徒・保護者が80%以上である。	・アンケートや心理検査により生徒の悩みを早期に発見し、教育相談係・スクールカウンセラーを積極的に活用した早期対応を図る。必要に応じて医療機関との連携を図る。 ・欠席者記入プリント、遅刻カード、保健連絡カード等を活用し、欠席や遅刻、保健室利用の多い生徒を早期に把握し、その要因を模索するとともに、生活習慣を振り返りを促すなどの対応をする。 ・全校生徒が自身の健康管理意識を高められるようにするために、保健委員会の活動を活性化させる。	A A	A A	B A		
V 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	9 就職・進学に対応した計画的な指導を行っていますか。 10 学力や学習意欲を高める取り組みを行っていますか。	・年度末の進路決定生徒が95%以上である。そのうち、国公立大学合格および公務員合格生徒を5%以上にする。	・個別の具体的な進路目標を低学年のうちから決定させるために、年間3回の面談や模試の振り返り指導、校内・校外ガイダンスへの参加を促す。	B	B	B	・進路先で活躍できるだけの学力や実力を身に付けさせることを目標に取り組んできた学年であったので、一般受験での進学に臨む者が増え、成果も挙がった。教員が意欲的に進路に関する知識を得ようとし、その熱意をもって生徒を導く姿勢の大切さを感じた。生徒にも教員にも刺激となる学習の機会を考え、その思いが実現できるように環境作りを努めたい。 ・基礎力診断テストについては、学習到達度が向上した生徒は50%程度であった。テキストを最後まで取り組んだという生徒の数が第1回よりも減少していることが原因の一つと考えられる。しかし、学習全体への意欲が減っているわけではないので、その点も考慮しながら取り組み方を考えていかなければならない。	・多様な進路選択ができる学校であり、進路指導が充実していると感じた。
		・第1回の基礎力・実力診断テストの結果と第2回のテスト結果を比較して、学習到達度が向上した生徒が70%以上である。	・生徒の学習意欲を高めるために、定期的に学年ごとの学力検討会を実施し、学習意欲向上への取組の具体的な方策を確認し、個別面談を行う。	C	B	C		
VI 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	・PTA会報を年2回発行し、内容に満足している保護者が70%以上である。	・編集委員会の活動を活性化し、保護者の意見を取り入れ会報の内容を充実させる。	A	A	A	・内容に満足している保護者が、87%であった。来年度もより上を目指し、内容を充実させたい。 ・ホームページを閲覧している保護者が昨年度47%であったものが、62%と増加した。しかし、目標の70%を終えることができなかった。来年度は創立50周年を迎えることもあり、より積極的にWebページを更新していきたい。そのためにも渉外部の中にWeb担当の係を作りたい。	・学校行事において保護者の参観機会を増やしていければ、もっと活気づくと思う。
		・Webページを閲覧している保護者が70%以上である。	・生徒の活動やPTA活動の様子を保護者に見てもらえるよう、積極的にWebページを更新していく。	B	B	B		
VII 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。 11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	・オンラインを利用して、生徒と外部との交流を年3回以上実施している。	・各教科や「総合的な探究の時間」の指導において、オンラインによる交流を含め、積極的に外部との交流機会を増やす。	A	-	A	・2・3年次の総合的な探究の時間では外部との交流機会が頻繁にあり、オンライン活用の効果が大きかった。また、2年次の英語の授業では、海外の高校生とオンラインでつながり、コミュニケーションをとる「国際交流プログラム」を実施した。マンナー、エジプトなど、普段関わることのできない国の若者との交流は貴重な経験になった。今後も、学習の目的に合わせたオンライン交流を進めたい。 ・生徒の90%、保護者の86%が満足していると回答した。業務改善にも有用であり、今後もさらに推進していきたい。	・生徒のプレゼン技術の向上を図り、今後もスキルアップにつなげてほしい。
		・ICTを活用した調査やアンケートに、生徒・保護者の70%以上が満足している。	・生徒向けの調査や学校評価アンケート等をICTを活用して実施する。	A	A	A		